

平成 25 年度第 4 回理事会抄録

日時：平成 25 年 7 月 20 日（土） 14：25～17：45

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水（副会長）、荻原、香山、小林正、陣内、土井、東、三澤、山本（常務理事）、宇田、大庭、小川、荻山、小林毅、高島、谷、藤井、宮口（理事）、古川、長尾、早川（監事）

傍聴：五百川（規約委員長）、岡本（事務局財務担当）、岩佐（都道府県士会連絡協議会長）

I. 審議事項

1. 平成 26 年度課題研究助成制度募集要項とこれまでの研究助成（経過）について（小林正学術部長）課題研究助成制度の募集要項について、①課題の明確化、②応募資格の緩和、③学術部の関与、④データについての協会の二次的使用権の明記等の変更が提案される。これまでの研究実績の論文投稿の有無について多くの議論がされた。文言の一部修正のうえ承認される。 →承認
2. 作業療法マニュアル「生活行為向上マネジメント」作成について（小林正学術部長）作業療法マニュアル「生活行為向上マネジメント」の原案について 7 月中に意見聴取。 →継続審議
3. 研究倫理に関する懸案事項について（小林正学術部長）協会自身が行う臨床研究を審査する研究倫理審査委員会を協会内に新たに設置することが提案された。 →承認
4. 前理事の処分について（中村会長）酒気帯び運転で検挙された前理事を「退会」処分とし、復会までの期間を 5 年とする。 →承認
5. 新体制下で検討すべき重要案件の検討日程と方法について（中村会長）組織・人事、基本方針、事業活動等について、検討日程と方法が示された。 →承認
6. 諸規程の整備について（五百川規約委員長）
 - 1) 定款施行規則（一部改正）広報部に機関誌編集委員会が設置されたことに伴う改正案が提案された。 →承認
 - 2) 認定作業療法士制度規程及び細則（改正の修正案）教育部組織の改編、生涯教育制度改定に伴い変更の必要が生じ、先月理事会審議において指摘された点を検討し修正した。 →承認
 - 3) 専門作業療法士制度規程及び細則（改正の修正案）先月理事会での指摘を受け修正した。 →承認
7. 認定作業療法士の審査結果について（陣内教育部長）更新申請者 27 名、新規申請者 16 名、すべて認定可とする。 →承認
8. 認知症 DVD のストーリーボード（内容について）（東広報部長）認知症分野の作業療法活動を説明するため映像を企画した。販売の方法等について意見が出されたが、この原案で進む方向。 →承認

9.平成 26 年度作業療法推進パイロット事業助成制度の募集要項について（宇田士会組織担当理事）募集要項に、①基本属性に多くの士会員で事業展開する項目を追加、②実践課題に協会指定課題を設ける、③申請用紙様式の変更等の変更をした。成果の公表の方法について等に意見が多く出された。 →承認

10.社・本郷税理士法人への業務委託のあり方と協会財務体制の見直しについて（香山事務局次長）一般法人移行関連を含め財政のあり方を変えたことにより、業務委託のあり方も変えることとした。新たな会計ソフトを導入し、定期的に訪問確認する等の変更をするための見積書が出された。 →承認

11.会員の入退会について（荻原事務局長）学会に参加するための再入会が 11 名。会費未納による資格喪失後の再度入会希望者は 32 名。全員清算済み。 →承認

II.報告事項

1.「災害対策副室長」と「士会組織担当理事」の後任について（中村会長）前理事の後任とし、災害対策副室長に荻原事務局長、士会組織担当に大庭理事の人事がメール審議で提案され承認された。

2.平成 25 年度定時社員総会の議事録について（荻原事務局長）手続どおり、発言者に確認後、議事録が完成した。

3.第二次作業療法 5 カ年戦略の具体的行動目標毎の工程表作成について（荻原事務局長）行動目標達成までの工程表として前期、後期の取り組み時期を大枠設定した。本文を参照し、各部が具体的に内容を明記し提出する。

4.表彰規程・名誉会員規程の見直しについて（荻原事務局長）会員数の拡大により表彰の意味を見直す必要が生じ、改正案を作成した。

5.協会システムのバックアップシステムの完成について（荻原事務局長）事務局が被災した場合等の緊急対応時に向けてのバックアップシステムが完成した。

6.ホームページの一部改善について（荻原事務局長）ホームページを見やすく改善するための仕様と見積書が上がった。

7.平成 24 年度末の会員動向（確定）について（荻原事務局長）平成 25 年 4 月 1 日時点の会員数 44,460 人が確定した。

8.渉外活動報告

（高島制度対策副部長）①リンパ浮腫指導管理料の職名追記の依頼のため日本婦人科腫瘍学会を訪問、②日本心臓リハビリテーション学会学術集会の講演協力、③日本ホスピス緩和ケア協会年次大会リハビリテーション分科会の講演とワークショップ参加、④がんのリハビリテーション研修臨時合同研修委員会に出席。

（三澤制度対策副部長）①JDD ネット代議員総会、第 2 回理事会に出席、②特別支援教育担当者会議に出席。翌日、特別支援教育関連

事業連絡協議会に出席。

(荻山制度対策副部長) リハビリテーション医療関連団体協議会地域包括ケア推進リハ会議に出席。

9.慢性期リハビリテーション協会の設立について (中村会長) 慢性期リハビリテーション協会が設立された。

10.三協会合同の平成26年度診療報酬改定に関する要望案について (高島制度対策副部長) 要望が多数のため、2つに分けて要望書が作成された。

11.チーム医療推進協議会の平成26年度診療報酬要望案について (小林毅広報副部長) 18団体の名前で出す要望書の案が作成された。

12.第11回協会・都道府県士会合同役職者研修会のプログラムについて (宇田士会組織担当理事) 最終的なプログラムが示された。

13.その他

(東広報部長) ポスターが完成した。合同研修会後に各士会に郵送する。

以上